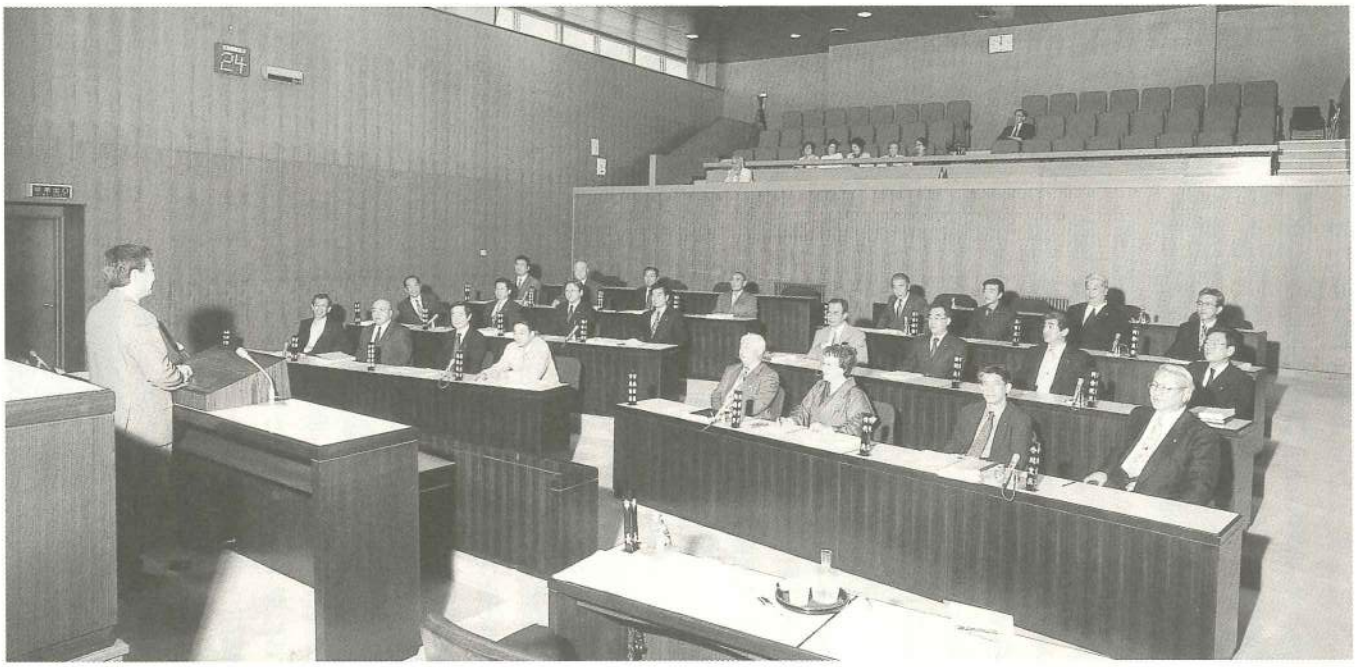
議会のホームページのアドレスはこちらです！　http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/gikai/

わっかない 市議会だより

WAKKANAI CITY

平成15年8月1日
第103号
●発行　稚内市議会
●編集　編集委員会
●電話　23－6161番(代表)内線281



就任のご挨拶

議長
小川文三

副議長
山田繁春

市民の皆様には、平素より稚内市政の発展に特段のご協力を賜わり、心から感謝申し上げます。

私たちはこの度、五月十五日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長並びに副議長という議会の極めて重要な役職に就任することになりました。

まことに身に余る光栄であるとともに、その責任の重大さを痛感いたしております。もとより微力ではございますが決意を新たにし、市政の発展と市民の幸せのために正・副議長一体となって誠心誠意努力いたす所存でございます。

市民の皆様が市議会に寄せる熱い想いをしっかり受け止め、市民の目線に立ち諸問題に取り組む覚悟であります。

市民の皆様におかれましても、市議会に対してより一層のご指導とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

議会日誌

5月

1日　市議会議員初打合せ会
9日　各会派代表者会議・幹事長会議
12日　各会派代表者会議・幹事長会議
15日　**第3回臨時会（本会議）・議会運営委員会**・各会派幹事長会議
16日　**総務常任委員会**
26日　**議会運営委員会**
27日　**第4回臨時会（本会議）**・議案特別委員会・正副委員長会議・**民生文教常任委員会**

6月

4日　**総務常任委員会**
6日　**議会運営委員会**
9日　常任委員会合同現地視察
12日　**第5回定例会（本会議）・議会運営委員会**・議案特別委員会
17日　**本会議・議会運営委員会**
18日　**本会議**
20日　各会派代表者会議・**議会運営委員会**
23日　**本会議・議会運営委員会**・議案特別委員会
24日　議案特別委員会
25日　**議会運営委員会**・議案特別委員会・資格審査特別委員会
26日　**議会運営委員会**・議案特別委員会
27日　議案特別委員会・図書室運営委員会・議会だより編集委員会
30日　**本会議・議会運営委員会**・各会派幹事長会議

7月

4日　資格審査特別委員会
8日　議会改革特別委員会
9日　**民生文教常任委員会**
10日　**建設産業常任委員会**
11日　**総務常任委員会**
16日　**議会運営委員会**・資格審査特別委員会
28日　議会だより編集委員会

…6月定例会 一般質問から…

各会派から7人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

政友会 河野至緒議員

産業の振興について（水産）

質問 現在、北海道が漁業振興計画の策定作業を進めているが、本市の取り組みとして、①沖合漁業と沿岸漁業を再編し、統一するべきでは。②現在、沖合・沿岸それぞれの市場があるが、公設市場として集約すべきでは。③今後の水産公社の在り方について、どう考えているか。

答弁 ①沖合・沿岸漁協個々の合併問題は避けられないものと認識し取り組んできたが、今後においても双方の再編に努めていきたい。②市内に卸売市場が2ヶ所必要かは、現在、道漁連が中心となり漁協・行政・漁業各連合会による検討協議会を設置し作業を進めている。市としてはこの推移を見守りながら利用者の利便性が高まる市場に再編されるよう働きかけをしていく。③水産公社については、今後も市況の急激な好転が期待できないことから経営は非常に厳しいが、より一層の経営環境の改善、事業内容の見直し、さらに経営移譲も含め関係者と協議していく。

教育の諸問題について（学校教育）

質問 平成14年度から小中学校で総合学習の時間、また週5日制がスタートしたことから、教育現場では様々な取り組みがされていると思うが、①少人数指導や習熟度別授業の現況は。②外国語学習に対する取り組みは。③学校評議員制度の導入は。④子どもの読書活動の推進に関する法律が制定されたことによる取り組みは。

答弁 ①現在、市内5小学校と4中学校で少人数学級モデル授業や習熟度別指導を実施している。②いきた英語教育実践のため外国語指導助手1名の配置をし、2学期からの教育現場での受け入れを協議している。③この制度は保護者や地域住民の意向を把握し協力を得ることや学校運営の状況について説明責任を果たす道筋づけなどが目的の制度であり、本市でも導入に向けた環境整備を整えていきたい。④各学校では読書に対する取り組みを行っており、新しい図書館と学校図書館のネットワークの展開を図るとともに、図書ボランティア活動も支援していきたい。

市民共生クラブ 本田満議員

行刑施設の誘致の反対について

質問 行刑施設の誘致については奉仕団体、ＰＴＡからの強い要請により決断したとの新聞報道があった。しかし、稚内には5～6の奉仕団体があり、各団体の役員会、理事会を経て全体で決議した話も聞いていないし、設立準備委員会が呼びかけた6奉仕団体のうち3団体が断っており、連合ＰＴＡや校長会も断っている。また、稚内市の誘致構想では、沼川地区が候補地だが、同地区は風力発電に向かない地区であり、行刑施設の誘致よりも酪農振興をもっと真剣に考えるべきである。さらに、稚内出身者には自然豊かで利尻礼文の見える人情豊かな街、二百カイリ前は水揚げ日本一を争った街と自慢してほしく、決して刑務所の街とは言ってほしくない。市長は市民や議会に対して提案した内容は誰が考えたのか、偏ってはいないのか。政策決定に際し多くの団体や市民から意見聴取したのか。労力や時間を惜しまず調整したのか。調べた情報のプラス面とマイナス面を公開したのか。これらも含めて行刑施設誘致を再考すべきと考えるが。

市民クラブ 菅原貴議員

「複合的なコミュニティ施設整備」及び「市民活動支援センター設置」について

質問 先の市長の所信表明演説において、①「地域の人々が集い語らう世代間を超えた、それぞれ地域にふさわしい機能を有する複合的なコミュニティ施設の整備を可能な限り推進して参りたいと思う」と述べているが、この施設がコミュニティ活動の推進の一環なのかどうか、また、従来の町内会館のことを意味するのか。もし別の施設として整備するのであればどのような施設を考えているのか。②「ボランティア活動やＮＰＯ活動の拠点確保のために市民活動支援センターの設置に取り組んでいきたい」とも述べているが、この施設も先に述べたコミュニティ活動の推進の一環なのかどうか、また、センターとは「機能や仕組み」を意味するのか、それとも「施設」を意味するのか。もし、施設を意味するのであれば既存施設及び遊休施設を活用するものなのか、新たに建設するものなのか。

答弁 ①複合的なコミュニティ施設整備は、コミュニティ活動推進の拠点として既存施設や遊休施設等

答弁　現在、49ヶ所の自治体が、誘致にむけて活動を展開しているが、そのほとんどが地域経済の低迷や少子高齢社会を迎え、人口の減少、財政状況の悪化という問題を抱えている。本市の誘致予定地の天北地区は離農や学校の統廃合等で人口が大きく減少したため、みのり公園等の自然を活用し様々な事業を行っているが、誘致による人口増加や経済効果について現地説明会を開催したところ、前向きな意見が多く、議会にも相談して14年9月30日に誘致期成会を設立し活動を行ってきている。また、本市の豊かな自然の恵みである自然エネルギーを活用した新しい刑務所の実現を提案してきたが、さらに実現性のあるものにするには、一層熟度を高める必要があると認識している。今後も、収集した情報等を広く公開しながら、多くの市民や団体の理解と協力を得ながら誘致活動を進めていきたい。

公明党　鈴木雅熙議員

地場産業の振興対策について

質問　①高橋北海道知事が選挙公約で「2年間で5万人の雇用創出」を掲げていたが、市長はどのように捉えているか。②市の広報紙に法人・個人を問わず、自慢できる食品や製品をPRしてはどうか。③稚内の各種水産物などを生かすため、今までより一歩進んだ地場産業の立ち上げを産・学・官が一体となり取り組むべきでは。

答弁　①雇用状況は依然厳しい状況にあり知事の施策に期待している。また、一市町村一雇用おこし制度の活用や調査研究中のコミュニティ・ビジネス（※注1）も促進していきたい。②地元の食品や製品を紹介することは一層の地場産業の推進に繋がることであり、これまでも新聞記事等で紹介してきた。今後も行っていくと同時に「広報わっかない」への掲載も進めていきたい。③地域産業の発展に向け、一昨年に「新製品等研究開発助成制度」の大幅な見直しを行っている。本制度を積極的に利用し、付加価値の高い製品開発に取り組まれることを期待している。

高齢化に伴う医療費及び健康対策について

質問　①厚生労働省が21世紀における国民健康づくり運動「健康日本21」を推進しているが、市の取り組みは。②高齢者の医療費増加に対する市としての対応は。③高齢者の一人一人にあった運動を指導するなど、市民参加型の健康増進運動を推進すべきでは。

答弁　①現在、健康日本21の取り組みについて検討を進めているところである。②老人医療費は徐々に増加傾向にあり、これまでも健康診査の対象年齢を5歳早めるなど、一次予防・二次予防に力を入れてきたが、さらに努力を重ねていきたい。③高齢者の自立には、自分の身体をよく理解した上で、できるだけ自力で元気に充実した日々を送ってもらうことが大切と思っており、地域保健推進委員や町内会、各種クラブとの協働のもと、より一層の市民参加型の健康づくりを推進していく。

日本共産党　佐藤幸子議員

介護保険制度の見直しについて

質問　①被保険者へ改定介護保険料の周知方法は、また、減免申請者への周知方法や代理申請の方法について。②訪問介護利用の利用実態について。③ショートステイ利用について予約制になっていのか、また緊急時の対応はどうしているのか。

答弁　①周知は、広報紙及び老人クラブの説明、民生児童委員を通じて行っている。減免対象者には、保険料の確定通知に併せて周知している。減免の申請は被保険者の承諾で家族及びケアマネージャー等でできる。②夜間訪問介護の利用実績は、平成12年度は1名で65回、平成13年度は1名で79回、平成14年度については実績がない。③ショートステイでは、特養富士見園が、17床のベッドを確保しており、14年度は延べ3,292人が利用し、ベッドの稼働率は、68.6％となっている。緊急時のショートやNPO法人を含む市民団体が活動しているが、それぞれ活動している個人や団体間の横の連携が必ずしも十分とは言えないことは所信表明でも述べている。それらを解消し、市民活動を支援していく拠点として市民活動センターの整備は急務の課題であると考えている。なお、施設整備にあたっては、センターの機能や位置付けを含め、遊休施設または既存施設を利用する方法で検討を進めていきたい。

トステイは、常に最低1ベッドの余裕を持ったサービス提供体制をとっている。

市立稚内こまどり病院の利用について

質問　この病院は高齢者人口の増加などによる医療需要に対応するため療養病床を設置し慢性期医療を中心とした病院運営を行い、患者サービスの向上に努め、地域住民に良質な医療を提供するとともに効率的な病院運営を図るという基本方針で開院されたが、①入院患者は退院後の生活が心配であり、退院に向けて在宅支援にどのように取り組んでいるのか。②今後、入院受入や病院の運営をどのようにするのか。

答弁　①本院の地域支援室と連携をとり、介護保険施設の入所等についても調整を図っていきたい。②分院の運営は、市民が利用しやすい体制を築くため本院との連携はもとより、市民に積極的にPRを行うと共に、病院までの交通アクセスについても、バス運行会社への働きかけを進めていく。

市民共同
田代　茂議員

ホタテ漁業とホタテ加工産業の現状と課題について

質問　市長は、まちが自立できる「仕事」づくりを施策の柱の一つにしているが、①本市の産業構造の中でホタテ加工業の位置づけをどう捉えているのか。②ホタテ加工業の雇用を守るための対策は。

答弁　①本市のホタテは、水産資源、加工原料として、経済にも大きな効果をもたらしている。しかし、ホタテ製品の需要と供給のバランスが崩れたことが原因で厳しい状況と認識している。市としても、関係者と連携をとって、対策に関わっていきたい。②ホタテ漁業、加工業は、市内関連業界に影響することからも、守らなければならない。これまでも、安定経営を図るため、ウロ処理施設建設や貝殻処理に支援をしてきた。今後は、多くの関係者の声を聞きながら、その対策に取り組んでいく。

入札問題及び市への納品についての改善及び小規模修繕工事登録制度導入の提案について

質問　①本市における部局扱いの入札契約は、競争性、公平性、透明性が確保されているか。②重機の発注に際して入札から納品まで実状に合わない期日が設定されていないか。③小規模修繕工事等については、「工事登録制度」を創り零細建設業者に対する受注機会を作るべきでは。

答弁　①入札は、少額工事及び一部業務委託について、迅速な事務処理のため各課で契約している。契約事務の一元化は、発注時期の集中度合いや緊急性を調査し検討する。また、業者選定は、指名運営委員会において公平・公正に選定している。②契約に際しては、物品の納入について、適正な期間の設定に努めているが、今後も納入に配慮した対応を行っていく。③事業の減少により零細業者にとっては、厳しい環境だが、提案は理解できるので、調査、検討する。

政友会
岡本雄輔議員

稚内港の中継基地化と稚内国際埠頭株式会社（WABCO）について

質問　現在、サハリンにおいて石油開発プロジェクトが本格的になっているが、①末広埠頭の改良や、はまなす地区の港湾を拡張する考えはないか。②特区として就労ビザの緩和を求めてはどうか。③市立病院とサハリンの病院をライン化し、救命医療体制の確立をしてはどうか。④稚内・サハリン間の航空機の就航や定期航路の通年化を関係機関に働きかけるべきでは。⑤稚内国際埠頭㈱（ワブコ）の営業活動は誰が行っているのか。⑥定款に記載されている営業目的の許認可についてワブコは取得しているのか。⑦本店の住所が市役所になっているが、法的に問題ないのか。⑧ワブコから手を引く考えはないか。

答弁　①末広埠頭は支援基地と位置づけているが、ストックヤード等の整備には、多額の事業費と期間が必要なため、国と協議し、対応していきたい。また、はまなす地区の拡張は、港湾能力の不足になった段階において、計画改訂の手続きをする。②就労ビザの緩和は専門の業務以外の単純労働は認められていない。引き続き想定される就労内容を示して、再提案を行っていく。③既に、北海道とサハリン州で提携されており、市立病院でも積極的に対応している。緊急時の対応等については今後の課題として検討していきたい。④国際交通網は一層その重要性が増すことから関係機関に強く要請していく。⑤伊藤忠商事及び日本通運の担当者が行っている。⑥事業を受注した際は、免許を取得している日本通運、地元企業が行なう予定であり、取得は考えていない。⑦ワブコは市の第3セクターであり、設立時に市役所の住所を使用した。⑧最近になりプロジェクトが進展しており、ワブコの存在は必要なものとの認識を持っている。

※注についてはＰ８「用語解説コーナー」参照

…総括質問から…

各会派の持ち時間の範囲で6人の委員から総括質問が行われました。主な質問を紹介します。

◎政友会　河合　武久議員

◇市附属機関の見直しについて

●公募や複数の委員会に属する委員数、兼務の最大数や10年以上続けている委員数は

●報酬や費用弁償が支払われていない委員会や昨年1度も開催していない委員会はあるのか、見直しが必要ではないか

◇稚内高等技術専門学院の改築運動について

●改築計画はどのようになっているのか

●今後開設予定の学科の有無は、その検討の内容や、さらに運動の展開方針は

◇行刑施設誘致運動の促進について

●建設する際の波及効果は

●誘致運動の現状は、また各方面に広く働きかけを行ったのか

◇幌延深地層研究施設事業への参加促進について

●研究施設に対する市長の考え方は

●関係省庁に対しての市の要請は

●稚内港利用のＰＲを行っているか

●港湾施設のクレーンやストックヤード使用や整備計画は

◇稚内スキー場の存続について

●廃止する方向なのか

●ロープウェイを廃止した場合の道路利用を、警察との間で今から協議を進め対策を講じていくべきでは

◇農業基盤の整備について

●オネトマナイ川改修の現況と糞尿対策や事業費、事業内容の説明を

●川西地区の畜産再編事業計画や豊別地区道営草地事業の内容は

●稚内第1地区の資源リサイクル事業の内容は

◇PFI（※注2）事業、市民債発行事業等の促進について

●道内で市民債事業を行っている事例は、また将来検討するのかどうか

●市民債事業のメリットとデメリットは

●ＰＦＩ事業として考えていることやシュミレーションはどうなっているのか

◇沿岸漁業の振興について

●ニシン中間育成の失敗の要因や経過の説明を

◎市民共生クラブ　松本　勝利議員

◇市長の政治姿勢について

●選挙結果から、相手候補者の得票や白票をどう判断しているのか

●前回より投票率が低く、市政への批判があるのではないかと思うが、それを踏まえて今後4年間をどう進めていくのか

●市長の前任期中の出張回数や日数が多すぎるのではないか、用務に応じて今後見直す考えは

●市職員の削減が続いているが、単に財政問題だけで個々に負担を負わせない配慮をすべき、合わせて職員配置を中長期計画を見据えてどう考えているか

●機構改革では課や係の名称が変わり過ぎ、もっと分かりやすくすべき

●補助金や広告料の削減の考えは

◇委託問題について

●市病医事課の業務委託で専門職の配置はあるのか、又指示命令系統に問題は生じないのか

●市病の清掃を委託しているが、特に床の汚れが目立ち、チェックや指示をきちんとしているのか、さらに契約方法に問題がないのか

●入札に最低制限価格を設けることについての検討結果は

◇都市計画と開発行為について

●申請がでた開発行為の計画内容は

●今回は河川改修が伴わないから審査期間が短いということなのか

●都市計画審議会で、今後のまちづくりは拡大しない方向性が出されたが、用途指定がない地域でも簡単に開発できないようにすべきでは

◇福祉問題について

●高齢者社会参画事業に関するバス料金で、乗り継ぎの場合に別料金をとる制度を改正すべきでは

●バス料金の一部有料化後と、それ以前の利用状況の比較は

●介護に関するデータ等をバス制度改正後に集めているのか

◇除雪対策について

●道路に雪を出さないように市民に対し啓発を強化すべきでは

●除雪作業で道路を塞ぐ際、消防活動に支障がないよう迂回路の設定などを届出るべきではないか

◎市民クラブ　藤谷　良幸議員

◇子育て支援策について（エンゼルプラン）

●高齢者支援に比べ浸透していないが、市民の評価が低いのではないか

●社会教育課とこども課の連携が不十分ではないか

●企業に対して、仕事と子育てが両立できるような啓蒙、啓発が不足しているのではないか

●男女共同参画計画の策定の必要性や作業状況は

●子育てボランティアの活動や支援状況は

●庁内論議を活発にし、子育てボランティア育成の取り組みの支援を

●子ども110番の登録件数と各家庭への周知方は

●地域子育て支援センターの具体的な強化内容は

●まちづくり委員会とのリンクをど

のように考えているか
●地域コミュニティ計画は具体的にどういうものを、どう推進していくのか
●出生率を上げるインパクトある施策の考えは

◇冬季観光振興策について

●過去取り組んだサハリン館事業は冬季観光の中心になっていないのではないか
●旅行会社に市の熱意が伝わっていないのではないか、
●ツアー助成を続けてきたことの経済効果を試算しているかどうか
●ツアー助成の当初の考え方は、現在では止めるに止められなくなってきているのではないか
●観光協会が宿泊状況を把握していくべきとの指摘をしていたが、その後の取り組みは
●宿泊施設への助成では宿の質を上げていくべきものと思うが、市の考え方は
●体験観光の基盤整備の進捗状況は
●サハリン館を民間経営に移行する昨年の検討結果や見通しは

◇まちづくり委員会について

●委員会設立時には地域の諸問題を整理していくとの説明だったが、市長が言う地域のコミュニティ施設を整理するものなのか

◎公　明　党　館農　恒一　議員

◇「人にやさしい」まちづくりについて

●高齢者が歩いて暮らせるまちづくりをどう進めていくのか
●ユニバーサルデザイン（※注3）による歩きやすい道づくりを手軽に行えるところから改善を行っては

◇パートナーシップによるまちづくりについて

●北方記念館で観光ボランティアを活用してははどうか

◇土地利用について

●今回の開発行為地に農地があるのではないか
●市の意見書の添付は、また事前審査はきちんと行っているのか

◇補助金について

●障害者共同住宅補助を道が6月に予算化したが、なぜ市は3月に行ったのか

◇学童保育所の在り方について

●授業料の滞納防止に向けての取り組みは

◎公　明　党　鈴木　茂行　議員

◇財政健全化プランについて

●プランの骨子、取り組み姿勢についての考えは
●未収金対策の現状と今後の方針は

◇高齢者サービス事業について

●入浴サービスの利用状況が低いが、その判断や、今後無料化する考えは
●支援事業に除雪サービスを入れる考えはないか

◇市立病院の運営について

●医療事故に対する具体的な防止策や相談窓口、更に第三者機関の設置の検討は
●女性専門科の設置に対する見解は
●給食業務の外部委託の考えは

◇幼保一元化について

●入園、入所数や収支の状況は
●一元化への取り組み方針は

◇乳幼児医療費助成対象年齢の拡大について

●対象年齢拡大はいつ頃になるのか、また何歳までにするのか

◇廃校の有効利用について

●天北地域の廃校の後利用は

◇公共施設循環バス運行について

●循環バスの運行は考えられないか
●こまどり病院利用者への路線確保対策をどのようにするのか

◎日本共産党　斉藤　信義　議員

◇国民健康保険税について

●保険税滞納の世帯、人数、比率は
●短期被保険者証の発行件数は
●資格証明書の発行はすべきではないと考えるが、発行の有無や見解は
●昨年の減免件数と内訳は、さらに制度の周知徹底を
●道から生活困難者への指導があるのか
●保険証の規格は全国的なものかどうか、単色で小さく、薄く、改善はできないか

◇老人保健高額医療費払い戻しについて

●高額医療費払い戻しの市の取り組みは、また対象者や金額は
●未申請者の状況は
●一度申請すれば更新できるような制度の導入は考えられないか

◇バスの停留所と待合所について

●温泉「童夢」前にバスの停留所を設けることの検討結果は
●宝来の福祉センターを利用する際のバス停留所が遠いので検討を
●沿線にバスの待合所を設けてほしい、さらにベンチの設置も

◇青少年科学館と水族館について

●両館の小中学生利用料金を無料にすべきでは、また昨年の有料での小中学生利用者数は
●水族館と科学館を同じ利用料にできないか

◇住民基本台帳ネットワークについて

●システムの接続拒否や相談のあった人数は、拒否希望者だけを離脱することはできないか
●同システム導入での整備総額と市の負担額はいくらか
●同システムの安全性の確保は、インターネットに接続される恐れはないか
●同システム導入は市民に提示し、その論議を基に進めるべきでなかったか

※注についてはＰ８「用語解説コーナー」参照

…議案特別委員会から…

【補正予算】

●白樺会館ほか2町内会館の改修工事の内容と利用状況は、更にコミュニティー施設建設との関連は

●コミュニティー施設建設はまちづくり委員会に検討を委ねるのか、それとも行政から提議するのか

●上勇知パークゴルフ場整備の内容や整備することになった経緯は

●市のホームページに検索機能を持たせてはどうか

●町内会館修繕補助はいつまで続けるのか

●精神障害者家族会と新たに設立したNPO法人との関わりは

●宗谷肉牛牧場に類した経営で、全国的に成功している事例はあるか

●農、漁業者への補助に関して、行政が行うべきことは基盤整備と考えるがどうか

●中小企業振興助成の対象事業の概要説明を

●サハリン館事業での食材の原価率を更に下げる努力をすべきでは

●同事業は第一副港計画の展開とは別にし、今年民間経営への転換を、課題をもって取り組むべき

●サハリンのアンサンブルを学校教育にいかす検討や市民がロシア文化に触れることができる施策の実施を

●冬季観光のツアー助成でカニ料理の提供以前の取り組み内容は、更に実施後や、サハリン館事業に転換後との比較は

●除雪の委託化が進む中、除雪機械を購入する理由は

●ブックスタート[※注4]事業を図書館が所管する理由は

●文化センターの舞台技術の委託先は市内業者か、また単年度契約か

●教育研究所費の食糧費の説明を

●ツール・ド・北海道への補助で、大会が本市でも実施されるのか

【条例改正】

〈稚内市手数料条例の一部改正〉

●住民基本台帳カードの返納方法及び返納しない場合の弊害は

〈稚内市立児童館条例の一部改正〉

●中央学童保育所及び児童館の職員配置と業務の内容の説明を

●保育所と児童館の相互利用の検討や考えかたは

〈稚内市障害者等サービス条例の一部改正〉

●支援費制度で二箇所のデイサービスセンターが事業者指定を受けなかった理由は

●民間施設が単価低下により障害者を受け入れなくなることは考えられないか

〈稚内市教育研究所条例の制定〉

●今まで実施しているのに敢えて条例化する意義は

〈稚内市水道給水条例の一部改正〉

●貯水槽水道の水質検査手数料は設置者に支払いを求めるべきでは

…採択された請願及び要望意見書…

◆30人以下学級実現等教育予算の充実を求め、義務教育費国庫負担法を改悪することに反対する請願及び要望意見書

◆憲法・教育基本法・「こどもの権利条約」の理念を生かした教育の実現を求める請願及び要望意見書

◆真の地方分権確立に向けた三位一体の改革を求める請願及び要望意見書

◆地方自治の充実強化を求める請願及び要望意見書

◇郵便投票制度等の改正を求める要望意見書

各常任委員会の構成が決まりました。

▲総務常任委員会▼

この委員会は市の総合的な企画、財政運営、市税の賦課・徴収、防災対策、サハリン施策に関する事務について調査・研究を行います。

委員は次のとおりです。

委員長　中井淳之助
副委員長　斉藤信義
委員　河合武久
〃　魚住彰
〃　本田満
〃　鈴木雅熙
〃　三宮正人

▲民生文教常任委員会▼

この委員会は、福祉対策、環境衛生、公害対策、市営住宅、国民年金、国民健康保険、市立病院など市民生活に直接関係する事項や教育行政全般について調査・研究を行います。

委員は次のとおりです。

委員長　岡本雄輔
副委員長　長谷川喜市
〃　河野至緒

▲建設産業常任委員会▼

この委員会は土木・建築工事、都市計画、上・下水道、港湾、水産・農林業・商工業・観光振興などについて調査・研究を行います。

委員は次のとおりです。

委員長　館農恒一
副委員長　松本勝利
委員　田森和文
〃　渋谷正敏
〃　生田目幸男
〃　山田繁春
〃　代田茂

▲議会改革特別委員会▼

この委員会は議員の活動に関すること、議会の運営に関すること、議員定数に関することについて調査・研究を行います。

委員は次のとおりです。

委員長　田森和文
副委員長　藤谷良幸
委員　岡本雄輔
〃　松本勝利
〃　鈴木茂行
〃　斉藤信義

▲議会運営委員会▼

この委員会は、議会の運営を円滑に行うため、各会派から選出された委員によって構成された委員会です。

委員は次のとおりです。

委員長　河野至緒
副委員長　鈴木茂行
委員　渋谷正敏
〃　本田満
〃　中井淳之助
〃　佐藤幸子
〃　代田茂
〃　三宮正人

▲議会改革特別委員会▼

この委員会は議員の活動に関すること、議会の運営に関すること、議員定数に関することについて調査・研究を行います。

委員は次のとおりです。

委員長　上出悦照
副委員長　藤谷良幸
委員　菅原貴
〃　鈴木茂行
〃　佐藤幸子

本会議と各委員会の出欠状況

区分／議員名	出席すべき日数	出席日数	欠席日数	区分／議員名	出席すべき日数	出席日数	欠席日数
岡本　雄輔	32	32		魚住　彰	21	21	
上出　悦照	17	17		生田目幸男	16	16	
河合　武久	21	21		長谷川喜市	17	17	
河野　至緒	21	21		本田　満	19	19	
渋谷　正敏	17	17		松本　勝利	31	31	
田渕　良一	16	16		鈴木　茂行	28	27	1(私)
田森　和文	27	24	3(私)	鈴木　雅熙	18	18	
小川　文三	19	15	2(公) 2(私)	館農　恒一	19	19	
菅原　貴	17	17		斉藤　信義	32	32	
中井淳之助	19	19		佐藤　幸子	18	18	
藤谷　良幸	31	31		田代　茂	31	31	
山田　繁春	30	26	2(公) 2(私)	三宮　正人	22	20	2(私)

注：(1)出席すべき日数は、５月１日から７月31日までの状況。
(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

9月定例会日程

9月24日
○本会議
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程
○決算特別委員会
25～28日
○休会
29日～30日
○本会議
・一般質問
10月1～2日
○議案特別委員会
3日
○本会議
○決算特別委員会
4～5日
○休会
6～7日
○決算特別委員会
8日
○本会議

本会議は5階議場で、各特別委員会は5階正庁で開きます。

写真募集（12月号）

議会だよりの表紙に自分の撮った写真を載せてみませんか。

市民のみなさんから写真を募集いたします。載せたい写真を10月4日までに下記宛に送付又は持参して下さい。（紙面の構図上、写真はできるだけ横構図のものをお願いします）

なお、写真については、後日お返しいたします。

※送付の場合には必ず返送用の住所・氏名・電話番号を記入の上送付してください。

〒097-8686 稚内市中央3丁目13番15号
稚内市役所　議会事務局

各会派行政視察情報

○公明党が先進都市へ視察に赴きました。

・時　　期　7月14日
・視 察 地　北海道北広島市
・調査事項
　・エルフィンパークについて
（JR線に分断された市街地を結ぶ、ドーム型のコミュニティ空間を有する連絡橋。）

永年勤続表彰

全国市議会議長会から、永年勤続表彰された議員がおりますので、定例会最終日にその伝達式を行いました。

今回表彰された議員は、次のとおりです。

全国市議会議長会
20年表彰　河野至緒議員

用語解説コーナー

（注1）コミュニティビジネス
地域の人々が地域に眠っている資源（労働力、原材料、技術力など）を活用して行う小規模ビジネスで、利益の追求に加え、地域課題の解決をめざしていくもの。

（注2）PFI
プライベート・ファイナンス・イニシアチブの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して行う新しい手法。

（注3）ユニバーサルデザイン
高齢者や身体障害者だけではなく、一般の人にも使いやすい形のデザインのことで、もともとある障壁を取り除くバリアフリーとは違い、最初から取り除かれていること。

（注4）ブックスタート
地域の保健センターで行われる0歳児検診で、赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動。（稚内市は7・8ヶ月検診時）

編集後記

皆さんこんにちは！

平成15年春の統一地方選挙（稚内市議選）は、定数24名に対し29名が立候補と、大激戦の選挙戦でありました。現職14名、新人10名の新しい体制でスタートをし、改選後初の6月定例会も無事に終わりました。

今議会では議会改革特別委員会が設置され、2年間の期間で議員定数・行政視察の方法等が論議されていきます。

また、議会だより編集委員も新しいメンバーになりました。

今後も、市民の皆様にわかりやすく議会の様子をお伝えし、信頼される議会活動に取り組んでいきたいと思います。

議会だより編集委員会
委員長　岡本　雄輔
副委員長　魚住　彰
委　員　菅原　貴
〃　鈴木　雅熙
〃　佐藤　幸子
〃　田代　茂
〃　三宮　正人